

2022年(令和4年)

第33号

(7月1日)

# 平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会  
 発行責任者：渉外部長 田中規之  
 編集委員長：渉外広報 植田恭司  
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230  
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

## 今月のことば ～日常を当たり前前に生きる - 精進①～ 宇治支部壮年部 井石佳男

今月は宇治支部の井石が担当させていただきます。よろしくお祈りします。

会長先生は、「精進とは、がむしゃらに打ち込む修行というより、むしろ日常生活のなかで人を思いやり、まわりの人に安らぎを与える言葉や行動を心がけること、(中略)当たり前前の毎日を送ること。」と説かれてます。

私が毎日実践していることの1つにトイレ掃除があります。毎日1回トイレクイックルで、便座から便器の周り便器の中をごしごし磨きます。わずか3分の実践です。この実践を始めたのは、視力が低下(身体障害者2級)し、先行きが不安のなか教会へ行き、ご命日で緒方元教会長(丸亀)から「心を綺麗にすれば病気は治る。」という法話を聞いたからです。心を綺麗にする実践は何か。視力低下で自宅療養をしていた私は、妻の家事を少しでも軽くすること、妻が喜ぶこととして2018年2月から家の掃除を始めました。その中のひとつがトイレ掃除です。それから2か月ぐらいいつ経った時、緒方教会長さんから「あなたは、毎日家にいるが何の実践をしているのだね。」と聞かれ「朝夕のご供養と家の掃除です。」と返答すると「それでいい続けなさい。」と言葉をいただきました。教会長さんがいいと言われるのだから続けようと思えました。

2018年6月仕事復帰が決まり、仕事場でも仕事場の人に喜んでもらえる自分になろうと出勤した日は、トイレの個室1つを掃除すると決めました。進んで人前で掃除するのは恥ずかしいですが、これは個室に入ってなので続けられてると思います。

ある時法座で「毎日休まずトイレと玄関の掃除を3年続けたら人生が変わる。」という話を聞き、人生が変

わるなら3年続けようと思えました。しかしながら2020年1月実姉の家に兄弟、実父と集まり楽しい夕食を囲んで酔って寝てしまい、その日はトイレ掃除をしませんでした。次の朝、「しまった」と思いトイレ掃除をし、夕方にもトイレ掃除をして昨日の分もこれでやったとしたのですが、自分の心にうそはつけず、2020年1月から新たに3年と決めた次第です。

今まで毎日トイレ掃除を続けてどんな功德があったのか。私は、身体を人のために使うのを惜しむ心がすごくあります。それが少しづつ薄らいで来ているのがわかります。それが功德の1つと受け止めてます。

2019年の京都教会創立記念の前日、式典準備で法座席の椅子をならべ、椅子が綺麗に並んでいるのを見て気持ちいいなと思ったとき、「ああ、人は綺麗な場所や環境にいるときは心が乱れない。その乱れない場所を作るのが人のためになり、自分の心を磨くことになる。」と気づきを頂き、緒方元教会長さんから「それでいい続けなさい。」の意味がわかった気がしました。佼成に「利他行によって心を磨くところに幸せがあり、それをつづけることこそ精進である。」と説かれてます。利他行の1つとしてトイレ掃除の実践を続けていきます。

佼成に目の不自由な阿那律がでてきます。目の不自由な私がこの投稿をする機会に阿那律がでてくる。その意味は、なんででしょうか。私は、「自分から助けを求めて発言していきなさい。そして、あなたを助けてくれたその人は、釈尊なんですよ。」との仏様からの言葉と受け止めさせていただきます。助けてくれた人を釈尊として礼拝する自分になれるよう精進をお誓いさせていただきます。ありがとうございました。

## 庭野開祖のご法話 政治と宗教 ～人物本位で投票する候補者を選ぶ～

それでは、誰に投票すればいいのでしょうか。政治を動かすのは政治家一人ひとりの人間です。ですから、人物をよく見て選びたいものです。本当に人々の幸福を願っている人、何よりも困っている人や弱い立場の人を大切に人、力に頼るのでなく対話や調和を大切に人、神仏をあがめ謙虚な人、このような人物が望ましいでしょう。しかし、私たち自身も不完全ですから、完全な人を求めるのはできません。「ベストで

なくてもベターな人」を選んでいくことが大切でしょう。

今年2月号から始まった庭野開祖の政治と宗教のご法話は今号をもって一旦終了します。

来る7月10日の参議院議員選挙には棄権をせず、自ら考え、自らの意思で、必ず投票しましょう。日本をよりよい道に進めるのは政治家だけではなく、政治家を選んだ私たちであることを忘れずにしましょう。

令和4年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。 <https://rkk-kyoto.jp/>